

一部展示
替え

7/1日〜8/16 棟方志功《いろは板画柵屏風》(見附市蔵)
8/18日〜9/23 棟方志功《流離抄板画巻「角屋の柵」》他6点(雪梁舎美術館蔵他)



かすがのにおいで
あきのゆふに
あけにける
かたも



二〇二六年度 夏季企画展

没後七〇年

會津八一と

かなき の 魅力

2026

7/1

水

>>>

9/23

水祝

会場 新潟市會津八一記念館

開館時間 10時〜18時〈17時30分まで受付〉

休館日 毎月曜日、7/21
〈ただし7/20、9/21〜23は開館〉

入館料 一般 500円 大学生 300円
高校生 200円 小・中学生 100円

※団体20名様以上2割引、土日祝休日は小・中学生無料

會津八一の誕生日、8月1日は入館料無料

主催／新潟市會津八一記念館

共催／新潟日报社 後援／BSN新潟放送

協力企業／浅川園、今成漬物店、大阪屋、笹祝酒造、里仙



AIZU YAICHI
MEMORIAL MUSEUM

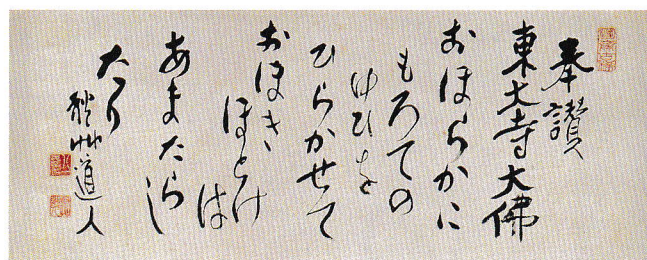


〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5F
Tel.025-282-7612
(10:00〜18:00)

入館割引券
本券持参で2名様まで
2割引おとしします
他の割引との併用不可
2025.9.23まで有効



- 1 棟方志功《いろは板画欄屏風》1952(昭和27)年 見附市蔵 7/1~8/16の間展示
- 2 會津八一《おほらかに》1950(昭和25)年 当館蔵
- 3 高村光太郎《吾山》1953(昭和28)年 個人蔵
- 4 棟方志功《流離抄板画卷》「角屋の欄」1953(昭和28)年 雪室舎美術館蔵 8/18~9/23の間展示



没後七〇年 會津八一と
かな書の魅力

今年で没後70年を迎えた歌人、書家、東洋美術史学者の會津八一(1881~1956)。八一の墨蹟には、自作の歌や俳句を揮毫した「かな書」が残っており、独創的な書風が高く評価されています。30代から50代ごろまでの八一は、漢字とひらがなが混在した表記で、連綿体(複数の文字を切れ目なく続けて書く書体)を用いて揮毫していました。ところが歌の音調を大切にしていた八一は、60代以降はひらがなを主体として、しかも放ち書き(文字を続けて書かず、一文字一文字離して書くこと)を用いて書くようになり、このように、八一のかな書は読みやすさばかりではなく、文字と余白(文字や絵などが配置されていない空間)とのバランスを意識した絶妙な書きぶりとなって完成したのです。

本展では、鑑賞者の視覚と聴覚に訴える八一の「かな書」の変遷を辿ります。加えて、八一とゆかりのある歌人(良寛、正岡子規、斎藤茂吉、吉野秀雄、相馬御風、吉井勇など)や芸術家(棟方志功、高村光太郎、中川一政など)のかな書も展示し、歌人や芸術家が揮毫したかな書の幅広い表現にも迫ります。

EVENT INFORMATION 関連イベント

1 館長就任記念講演会 「會津八一と歌の書」

事前申込制

講師 | 角田勝久
(新潟市會津八一記念館館長／新潟大学教授)
日時 | 2026年7月20日(月祝) 14:00~15:30
会場 | 日報ホール
(新潟日報メディアシップ2階)
聴講料 | 500円(入館料込み) 定員 | 120名



2 角田勝久館長による 作品鑑賞会

日時 | 2026年7月11日(土)
11:00~ 約50分
会場 | 当館展示室
(申込不要/
要当日観覧券)

3 学芸員による展示解説と 「今日から味わう八一さんの書」

会期中の下記日時に展示解説を行い、合わせて展示作品に関連した作品をケースなしで展示し、作品の扱い方についてもご説明します。八一作品をより身近に味わっていただけるものと思います。

日時 | 企画展開催期間中の第2、第4日曜日、11:00~ 約1時間

- 7月12日、26日: 初めて歌碑を建立した奈良・新薬師寺の拓本
- 8月 9日、23日: いろいろな「無」の書の味わい
- 9月13日 : 自然を詠んだ「村莊雑事」の世界

会場 | 当館展示室(申込不要/要当日観覧券)

イベント1の

お申し込み方法

※イベント1の聴講をご希望される方は専用申込フォームかはぎのいずれかでお申し込みください。はぎの場合、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、會津八一記念館宛に開催日の7日前までにお送りください。(ただし1通につき1イベント、1名様までのご応募といたします) 定員に達し次第締め切ります。申し込まれた方には当日、聴講券を会場でお渡しいたします。(はぎでの返信はございません)



専用申込
フォームはこちら

開催日の前日迄に
お申し込みください

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。

- 7月1日 ~ 8月9日: 伊集院草香先生(新潟県書道協会参事)
- 8月11日~9月23日: 岩田佳香先生(新潟県書道協会参事)



AIZU YAICHI
MEMORIAL MUSEUM

新潟市 會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614 / MAIL: info@aizuyaichi.or.jp

当館へはメディアシップのエレベーターをご利用ください。(階段はございません)

◎ 交通のご案内 新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分

◎ 駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)

※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などがございます。

